

評価者	市民生活部長	齋藤 和徳
評価者	まちづくり計画部長	林 浩一
評価者	都市景観部長	吉田 浩

◎ 評価対象分野・施策の方針・目標とすべきまちの姿

総合計画上の位置付け	分野	市街地整備	施策の方針	市街地整備の推進
目標とすべきまちの姿	利便性の向上やまちの活性化をはじめ、市民が安全・安心に暮らせ、災害に強く、快適なまちづくりの実現を図るため、計画的な土地利用や市民参画によるまちづくりに取り組んでいます。市民のまちづくり推進のニーズをくみ取り、満足度を高められるよう柔軟に対応する持続可能な土地利用等の計画を推進しています。			

1 市民意識調査結果

(1) 認知度(回答者全体に占める割合)

取組を知らない・わからないと答えた人の割合	令和元年度(2019年度)	18.7%	平成30年度(2018年度)	19.5%	平成29年度(2017年度)	18.8%
	平成28年度(2016年度)	19.4%	平成27年度(2015年度)	22.5%		

(2) 妥当性

令和元年度(2019年度)

お金の使い方

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない
必要以上の効果	3.5%	0.5%	0.0%
ちょうどよい	4.2%	41.1%	0.2%
効果不十分	8.2%	3.8%	14.2%

仕事の効果

全体における位置(効果とお金の両方が「ちょうどよい」の割合)

平成30年度(2018年度)

お金の使い方

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない
必要以上の効果	3.1%	0.8%	0.2%
ちょうどよい	4.1%	39.0%	0.5%
効果不十分	6.9%	5.1%	15.5%

仕事の効果

全体における位置(効果とお金の両方が「ちょうどよい」の割合)

平成29年度(2017年度)

お金の使い方

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない
必要以上の効果	2.8%	1.1%	0.4%
ちょうどよい	3.3%	39.9%	1.2%
効果不十分	7.4%	4.7%	15.5%

仕事の効果

全体における位置(効果とお金の両方が「ちょうどよい」の割合)

平成28年度(2016年度)

お金の使い方

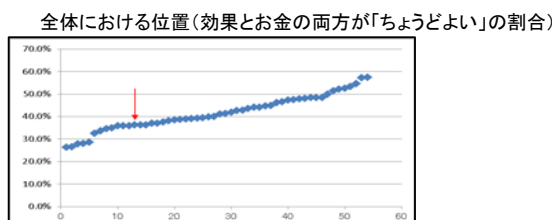
	使いすぎ	ちょうどよい	足りない
必要以上の効果	2.3%	1.2%	0.2%
ちょうどよい	2.3%	40.1%	0.4%
効果不十分	6.2%	5.7%	17.2%

仕事の効果

全体における位置(効果とお金の両方が「ちょうどよい」の割合)

平成27年度(2015年度)

仕事の効果	お金の使い方		
	使いすぎ	ちょうどよい	足りない
必要以上の効果	1.7%	1.0%	0.3%
ちょうどよい	3.7%	36.2%	0.7%
効果不十分	6.7%	5.4%	15.3%



(3) 今後の進め方

	もっと力を入れるべき	現状のままで良い	力を入れなくて良い	無回答
令和元年度(2019年度)	23.7%	43.5%	8.6%	24.2%
平成30年度(2018年度)	25.6%	41.8%	8.3%	24.3%
平成29年度(2017年度)	27.9%	39.2%	9.1%	23.7%
平成28年度(2016年度)	29.8%	40.3%	5.3%	24.5%
平成27年度(2015年度)	28.2%	38.1%	5.4%	28.3%

2 内部評価

(1) 令和元年度(2019年度)の目標

<p>◎市民生活部</p> <p>①住居表示実施済み地区の付番等維持管理事務を主体として、新規の住居表示実施に関しては、これまでの経過から地域住民の同意を得ることが難しく、実施は困難な状況であるが、地域からの要望があれば住居表示の制度説明を行うなど対応をしていく。(市民-28)</p> <p>②市境界の確定について、逗子市とは引続き共同事業の実施を要請するとともに、申請に基づき、市境界を確定していく。(市民-28)</p> <p>◎まちづくり計画部</p> <p>【鎌倉地域関連】</p> <p>①来訪者と市民が共存できる快適な駅前環境を整えるため、鎌倉駅西口駅前広場の暫定的な整備に向けた整備工事を行う。(まち-01)</p> <p>【大船地域関連】</p> <p>②大船駅笠間口前の旧財務省用地の活用に向けて、横浜市側の北第二地区市街地再開発事業と連携した形での整備の検討及び調整を進める。(まち-02)</p> <p>③都市計画道路阿久和鎌倉線の整備及び横浜・鎌倉両市一体整備計画(案)の見直しに向け、神奈川県、横浜市と協議を進める。(まち-03)</p> <p>④大船駅東口市街地再開発事業については、権利者の意向を十分に踏まえ、建設工事費の動向や横浜市側の再開発事業を注視するとともに、大船駅東口駅前整備のあり方を検討していくために必要な市街地再開発事業の知識を有した職員を育成する。(まち-05)</p> <p>【深沢地域関連】</p> <p>⑤深沢地域整備事業については、都市計画決定に向けた各種関係機関と協議・調整を行うとともに、確実な土地区画整理事業の事業スキームを示すことで、権利者の不安や心配等の解消を図る。また、深沢地区のまちづくりコンセプト「ウェルネス」の実現に向け、官民連携による土地利用誘導や機能導入への対応について検討を進める。(まち-07)</p> <p>【まちづくり関連】</p> <p>⑥本市の実態に見合った土地利用調整制度等の構築に向け、課題の整理など検討を行うとともに、市民参画によるまちづくりへの支援を行う。また、まちづくり条例に基づく大規模開発事業等の手続を適正に運用し、早い段階で土地利用の転換を把握するとともに、計画的な土地利用の誘導を図る。市街化調整区域における土地利用規制について、本市独自の開発基準の新設に向け、実態の把握や分析など慎重に検討を進める。(まち-08)</p> <p>【都市計画関連】</p> <p>⑦都市計画公園・緑地の見直し方針に基づき都市計画変更の告示をする。(まち-09)</p> <p>⑧高度地区指定拡大について、周知活動を実施し都市計画変更に向けた手続を進める。(まち-09)</p> <p>⑨特定生産緑地の指定に向けて説明会等で生産緑地所有者に周知を行い、指定基準、指定フロー、帳票等を作成する。(まち-09)</p> <p>⑩令和元年度から3か年で行う立地適正化計画の策定には、防災、福祉、交通等の庁内関係部署との連携が不可欠であるため、情報の共有化を図る。また、鎌倉市特有の地形による津波やがけ崩れのハザードエリアの計画における位置づけ等、課題解決に向けた検討を行う。(まち-09)</p>
--

◎都市景観部

- ①鎌倉市開発事業における手続き及び基準等に関する条例の運用により、引続き計画的な土地利用によるまちづくりの推進を図る。(都景-01)
- ②開発行為等の許可に係る審査等において、正確な法の運用と厳正な審査を行い、引き続き適法かつ公平な許可事務に努める。(都景-06)
- ③抽出した大規模盛土造成地の詳細調査に向けて、神奈川県や県内他市の動向を踏まえ検討し準備を進めていく。(都景-06)
- ④建築確認審査の迅速化や違反建築物等への対策を実施する。中間・完了検査についてのお知らせ文を配付する等、検査率の更なる向上に努める。(都景-08)

(2) 目標とすべきまちの姿と令和元年度(2019年度)の目標との関連性

◎市民生活部

- ①町名地番が混乱してわかりにくいものとなっている住居の表示を、住居表示を実施することで合理的なわかりやすいものとし、快適なまちづくりの実現を図る。(市民-28)
- ②隣接する市との境界を確定することにより、行政の管轄区域を明確にする。(市民-28)

◎まちづくり計画部

【鎌倉地域関連】

- ①東京オリンピック・パラリンピックの開催に合わせて鎌倉駅西口駅前広場の暫定的な整備を実施し、駅前広場周辺の利便性の向上を図り、市民と観光客とが共存できる快適な空間を整える。(まち-01)

【大船地域関連】

- ②大船駅笠間口前の旧財務省用地の活用を横浜市側の北第二地区市街地再開発事業と連携した形での整備の検討等を進めることで、大船駅笠間口前の利便性の向上を図り、市民の快適な空間を整えることに繋げていく。(まち-02)
- ③大船駅西口周辺の交通環境等を改善することにより、市民等の安全性と利便性の向上を図るため、横浜・鎌倉市両市一体整備計画(案)の見直しに向け、神奈川県、横浜市と協議を進めることにより、都市計画道路阿久和鎌倉線の整備の実現に繋げていく。(まち-03)
- ④大船駅東口駅前の土地の計画的な高度利用と都市基盤施設の整備等を図ることにより、まちの活性化や災害に強く、快適で利便性の高い大船駅東口の市街地の創出に繋げていく。(まち-05)

【深沢地域関連】

- ⑤深沢地域整備事業を進めることで、令和3年度(2021年度)の都市計画決定を目指した各種関係機関と協議・調整を行うとともに、土地区画整理事業の事業スキームを示すことで、市民(権利者等)のまちづくり推進のニーズをくみ取り、満足度が高められ、持続可能な土地利用等の計画の推進を図る。(まち-07)

【まちづくり関連】

- ⑥本市の実態に見合った土地利用調整制度等の構築に向けた検討を行うことで、計画的な土地利用につなげるとともに、まちづくり市民団体との情報交換会の実施により、市民参画によるまちづくりの活性化を図る。また、まちづくり条例に基づく大規模開発事業等の手続を適正に運用することで計画的な土地利用の誘導を図る。その他、市街化調整区域における土地利用規制についての検討を行う。(まち-08)

【都市計画関連】

- ⑦都市計画施設の区域については、都市計画法第53条に基づく建築制限がかかっており、特に長期にわたり整備の見通しが立たない都市計画施設にこうした制限をかけたまま続けていることが課題となっていることから、長期未着手施設の見直しを行い、変更及び廃止により制限を解除することで、柔軟な土地利用の推進を図る。(まち-09)
- ⑧高さ規制のない地域に、地域特性に応じた高さ規制の高度地区を拡大し、居住環境の保全及び産業の維持・発展が図れる土地利用を誘導することで、まちの活性化をはじめとした、市民が快適に暮らせるまちづくりを推進する。(まち-09)
- ⑨当初指定の平成4年(1992年)から30年経過する令和4年(2022年)には、既指定の生産緑地地区の買取申出による急激な減少が課題となっており、その対応策として生産緑地地区を10年延長できる特定生産緑地地区制度が新設された。生産緑地地区は火災の延焼防止帯等の効果が発揮できると考えられるため、特定生産緑地制度を利用し、生産緑地地区を維持することで、災害に対応した土地利用を図る。(まち-09)
- ⑩立地適正化計画を策定し、都市機能誘導区域と居住誘導区域を適正に決めることで、沿岸部や谷戸部における災害対策、高度経済成長期に開発された住宅地などにおける生活サービスへのアクセス等、都市の課題の解決を図る。(まち-09)

◎都市景観部

- ①利便性の向上やまちの活性化をはじめ、市民が安全・安心に暮らせ、災害に強く、快適なまちづくりの実現を図ることは、鎌倉市開発事業における手続き及び基準等に関する条例の運用により、引続き計画的な土地利用によるまちづくりの推進を図るといふ目標の実現によって達成が可能になると考える。(都景-01)
- ②開発行為等の許可に係る審査等において、正確な法の運用と厳正な審査を行うことにより、市民が安全・安心に暮らせ、快適なまちづくりの実現を図る。(都景-06)
- ③抽出した大規模盛土造成地の詳細調査に向けて、神奈川県や県内他市の動向を踏まえ検討し準備を進め、市民が安全・安心に暮らせ、災害に強いまちづくりの実現を図る。(都景-06)
- ④建築確認審査の迅速化や違反建築物等への対策により、市民が安全・安心に暮らせ、災害に強く、快適なまちづくりの実現を図る。(都景-08)

(3) 事業評価結果一覧表(網掛けは重点事業)

評価対象事業名		決算値(千円)		職員数(人)		法定受託 事務	今後の 方向性	
整理番号	事業名	令和元年度 (2019年度)	平成30年度 (2018年度)	令和元 年度 (2019 年度)	平成 30年度 (2018年 度)		事業内容	予算規模
市民-28	住居表示事業	1,356	1,530	1.2	1.2	無	b	B
まち-01	古都中心市街地整備事業	18,983	5,634	2.1	2.0	無	b	B
まち-02	大船駅周辺整備事業	221	14,244	1.6	1.5	無	b	A
まち-03	大船駅西口整備事業	0	0	0.3	0.4	無	d	B
まち-04	大船駅東口再開発運営事業(特別会計)	1,416	1,564	0.3	0.3	無	b	B
まち-05	大船駅東口再開発推進事業(特別会計)	20	125	1.1	1.3	無	b	B
まち-06	市街地整備運営事業	2,260	2,815	0.7	0.6	無	d	C
まち-07	深沢地域整備事業	54,232	26,139	9.9	8.9	無	b	A
まち-08	まちづくり推進事業	591	717	8.0	9.0	無	b	A
まち-09	都市計画運営事務	44,716	6,280	6.0	6.0	無	b	B
都景-01	都市調整運営事務	6,011	5,994	7.0	7.0	無	b	B
都景-06	開発審査事務	353	353	8.0	8.0	無	b	B
都景-08	建築指導事務	9,373	9,330	11.0	10.5	有	b	B

(4) 主な実施内容

<p>【主な実施内容】</p> <p>◎市民生活部</p> <p>①住居表示実施地区に新築された建物について、住居番号を付定した。(市民-28)</p> <p>②逗子市との境界未確定箇所の対応について、協議した。(市民-28)</p> <p>◎まちづくり計画部</p> <p>【鎌倉地域関連】</p> <p>①鎌倉駅西口駅前広場の暫定的整備に向けて、アドバイザー会議で専門家の意見を伺いながら、平成30年度に策定した実施設計を踏まえ、整備工事を実施した。(まち-01)</p> <p>【大船地域関連】</p> <p>②大船駅笠間口前の旧財務省用地の整備・活用について、横浜市及び北第二地区市街地再開発組合と協議、調整を進めた。(まち-02)</p> <p>④横浜市側の再開発事業においては、横浜市や再開発組合と意見交換等を行いながら認識の共有に努めた。(まち-05)</p> <p>【深沢地域関連】</p> <p>⑤鎌倉市深沢地区と藤沢市村岡地区との広域連携によるまちづくりも見据えつつ、関係者間で協議を重ね、事業の実現化に向けた方策等を検討した。(まち-07)</p> <p>【まちづくり関連】</p> <p>⑥開発事業等の一連の手続など、本市の実態に見合った土地利用の調整に関する制度のあり方の検討等を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市及びまちづくり市民団体間の情報共有を目的とする、情報交換会を開催した。(まち-08) ・鎌倉市まちづくり条例に基づく大規模土地取引行為の届出により、早い段階で土地利用の転換を把握するとともに、大規模開発事業の手続により、鎌倉市まちづくり審議会の意見を聴きながら計画的な土地利用の誘導を図った。(まち-08) <p>【都市計画関連】</p> <p>⑦都市計画公園・緑地の見直し方針に基づいて、鎌倉海浜公園の都市計画変更告示を実施した。(まち-09)</p> <p>⑧高度地区指定拡大方針に沿って、高度地区を指定拡大(約340ha→第1種約344ha、第2種約309ha、第3種約181ha、第4種約71ha)し都市計画変更告示を実施した。(まち-09)</p> <p>⑨特定生産緑地制度の説明会を実施して所有者に周知を図るとともに、令和2年4月から特定生産緑地指定手続開始に向けて書式の作成など事前準備を実施した。(まち-09)</p> <p>⑩立地適正化計画策定に向けて庁内検討委員会を設置して、都市構造の分析等を行い、連絡調整を図った。(まち-09)</p> <p>◎都市景観部</p> <p>①職員間の情報共有のために課内打ち合わせを積極的に行った。また条例の運用解釈において、想定していなかった事案の解決に向け、条例改正を視野に入れ、課外と調整会議を重ねる等の取組を行った。(都景-01)</p> <p>②開発行為等の許可に係る審査等において、正確な法の運用と厳正な審査を行い、引き続き適法かつ公平な許可事務を行った。(都景-06)</p> <p>③抽出した大規模盛土造成地の詳細調査に向けて、神奈川県や県内他市の動向を踏まえ検討し準備を進めた。(都景-06)</p> <p>④違反建築物に対して消防など関係機関等と連携するとともに、建築行政マネジメント計画を基に建築確認審査の迅速化や違反建築物等への対策を実施した。(都景-08)</p> <p>【実施できなかった事業とその理由等】</p> <p>◎市民生活部</p> <p>①新規の住居表示実施について、地域からの要望がなかったため実施しなかった。(市民-28)</p> <p>②逗子市は、市民生活に影響の少ない山林部分に市税を投入して事業を行うことは対外的な説明ができないこと、開発等で必要が生じた時に民間の費用で行うことを選択したいとの意向であり、今後の共同事業の実施は困難な状況である。(市民-28)</p>

◎まちづくり計画部

【大船地域関連】

③横浜・鎌倉市両市一体整備計画(案)の見直しについては、関係機関との意見交換を実施したが、課題解決に向けた進捗は得られなかった。(まち-03)

【深沢地域関連】

⑤修正土地利用計画(案)の再点検結果に基づく事業フレームの調整検討については、工程の見直しを行うことにより、実施しなかった。また、交通管理者調整協議については、年度内に完了できないため、翌年度へ繰越しを行った。(まち-07)

(5) 令和元年度(2019年度)の取組の評価

◎市民生活部

効率性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、適切な事業費・人件費で執行できていたか	■ 適切 □ 要改善
妥当性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、妥当(適切)な取組であったか	■ 適切 □ 要改善
有効性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、適切な成果が得られていたか	■ 適切 □ 要改善
公平性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、受益機会が偏っていない(適切な)取組であったか	■ 適切 □ 要改善

<上記評価の理由、改善を要する点の具体的内容等>

・快適なまちづくりの実現に向けて、適切に住居表示実施地区の新築建物に対する住居番号の付定を行った。(市民-28)

◎まちづくり計画部

効率性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、適切な事業費・人件費で執行できていたか	■ 適切 □ 要改善
妥当性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、妥当(適切)な取組であったか	■ 適切 □ 要改善
有効性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、適切な成果が得られていたか	■ 適切 □ 要改善
公平性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、受益機会が偏っていない(適切な)取組であったか	■ 適切 □ 要改善

<上記評価の理由、改善を要する点の具体的内容等>

【鎌倉地域関連】

①鎌倉駅西口駅前広場の暫定的整備に向けて、アドバイザー会議で専門家の意見を伺いながら、当初の計画通り入札等により整備工事を実施し、適切な事業費等で適切な成果が得られた。(まち-01)

【大船地域関連】

②大船のまちづくりについて話し合う場を設置して、大船のまちの活気や賑わいの創出に向けて検討に着手するとともに鎌倉市制80周年記念イベントの共催を行い、適切な成果が得られた。(まち-02)

③横浜・鎌倉市両市一体整備計画(案)の見直しについては、横浜市との連絡を密に取りながら意向等を把握し、慎重に調整・協議を進めていく必要がある。(まち-03)

④横浜市側の再開発事業との関連では、引続き横浜市や再開発組合との認識の共有に努めるとともに、市街地再開発事業の知識を深めるために、より具体的な課題意識を持った上で再開発プランナー等による研修会の実施や識者へのヒアリングを実施していく必要がある。(まち-05)

【深沢地域関連】

⑤令和3年度の都市計画決定に向けて、関係者間で協議を重ね、事業の実現化に向けた方策等を検討した。(まち-07)

【都市計画関連】

⑦都市計画公園・緑地の見直し方針に基づいて、鎌倉海浜公園の都市計画変更告示を実施した。(まち-09)

⑧高度地区指定拡大方針に沿って、高度地区を指定拡大(約340ha→第1種約344ha、第2種約309ha、第3種約181ha、第4種約71ha)し都市計画変更告示を実施した。(まち-09)

⑨特定生産緑地制度の説明会を実施して所有者に周知を図るとともに、令和2年4月から特定生産緑地指定手続開始に向けて書式の作成など事前準備を実施した。(まち-09)

⑩立地適正化計画策定に向けて庁内検討委員会を設置して、都市構造の分析等を行い、連絡調整を図った。(まち-09)

◎都市景観部

効率性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、適切な事業費・人件費で執行できていたか	■ 適切 □ 要改善
妥当性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、妥当(適切)な取組であったか	■ 適切 □ 要改善
有効性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、適切な成果が得られていたか	■ 適切 □ 要改善
公平性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、受益機会が偏っていない(適切な)取組であったか	■ 適切 □ 要改善

<上記評価の理由、改善を要する点の具体的内容等>

①「鎌倉市開発事業条例における手続及び基準等に関する条例」の適正な運用を図っており、計画的な土地利用をすすめることに寄与している。(都景-01)

②開発許可等に係る事業者及び市民対応の増加に対応するため、引き続き効率的かつ適正な事務を行った。(都景-06)

③抽出した大規模盛土造成地の詳細調査に向けて、神奈川県や県内他市の動向を踏まえ検討し準備を進めた。(都景-06)

④法に基づく許認可事務のため、事業は妥当である。ただし、処理対応については市民ニーズもあり、建築行政マネジメントを作成したことから、この計画に基づき、対応の徹底を図る。(都景-08)

3 主な事業における指標(目標ごとに1つ設定)

整理番号	市民-28	事業名	市境界整備事業									
指標の内容	市境界整備率					単位	%	指標の傾向	⇒	備考		
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)					
横浜市・藤沢市・逗子市との境界確定の総合計の目標を設置するため	目標値	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0					
	実績値	86.1	86.4	86.7	87.0	87.3	87.3					
	達成率	95.7%	96.0%	96.3%	96.7%	97.0%	97.0%					
整理番号	まち-01	事業名	古都中心市街地整備事業									
指標の内容	鎌倉駅西口時計台広場の暫定整備の進捗度					単位	%	指標の傾向	↗	備考		
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)					
東京オリンピック・パラリンピックの開催に合わせ、鎌倉駅西口時計台広場の再整備を行うこととしたため。	目標値	-	-	-	30.0	60.0	100.0	H29:基本設計実施 H30:実施設計の実施 R01:整備工事の完了				
	実績値	-	-	-	30.0	60.0	100.0					
	達成率	-	-	-	100.0%	100.0%	100.0%					
整理番号	まち-02	事業名	大船駅周辺整備事業									
指標の内容	再開発事業区域内の環境整備(下水道管の整備等)の進捗度					単位	%	指標の傾向	⇒	備考		
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)					
再開発事業の実施を延伸していることから、市民要望のある下水道管の整備工事を実施することとしたため。	目標値	-	-	-	25.0	50.0	50.0	H29:整備方針の確定 H30:実施設計の実施 R02:整備工事の実施				
	実績値	-	-	-	25.0	50.0	50.0					
	達成率	-	-	-	100.0%	100.0%	100.0%					
整理番号	まち-05	事業名	大船駅東口再開発推進事業(特別会計)									
指標の内容	再開発事業の進捗度					単位	%	指標の傾向	⇒	備考		
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)					
適切に再開発事業の進捗を確認できるようにするため。	目標値	40.0	40.0	60.0	60.0	80.0	100.0	基本計画策定(20%)、 都市計画変更(40%)、 事業計画認可(60%)、 権利変換計画認可 (80%)、 竣工(100%)				
	実績値	35.0	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0					
	達成率	87.5%	75.0%	50.0%	50.0%	37.5%	30.0					
整理番号	まち-07	事業名	深沢地域整備事業									
指標の内容	事業の進捗度					単位	%	指標の傾向	↗	備考		
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)					
深沢地域整備事業の都市計画決定を令和3年度(2021年度)に行う。	目標値	-	-	25.0	50.0	75.0	100.0	H28(2016)修正土地利用計画(案)の策定 H29(2017)土地区画 整理事業の再構築 R03(2021)都市計画決定				
	実績値	-	-	25.0	50.0	75.0	80.0					
	達成率	-	-	100.0%	100.0%	100.0%	80.0%					
整理番号	まち-08	事業名	まちづくり推進事業									
指標の内容	まちづくり条例に基づく自主まちづくり計画提案数					単位	件	指標の傾向	⇒	備考		
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)					
市民参画によるまちづくりの成果とすることが出来るため。	目標値	15	15	15	15	16	16	5年で1件増やす 目標としている。				
	実績値	14	14	14	14	15	15					
	達成率	93.3%	93.3%	93.3%	93.3%	93.8%	93.8%					
整理番号	まち-09	事業名	都市計画運営事務									
指標の内容	都市計画の決定・変更の実現(①公園・緑地の変更(廃止)、②高度地区の拡大、③大平山丸山地区地区計画の都市計画決定、④生産緑地地区面積引下げ条例の制定)					単位	%	指標の傾向	↗	備考		
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)					
短期的に都市計画決定・変更を想定している案件を計画的に実施するため	目標値	-	-	-	-	50.0	100.0	都市計画決定・変更 H30:1件 R01:4件				
	実績値	-	-	-	-	50.0	100.0					
	達成率	-	-	-	-	100.0%	100.0%					